

ラムサール条約湿地で活動するユースによる「ユースラムサール交流会」の開催 ～ユースによる湿地保全に向けての普及啓発活動と全国湿地ネットワークの構築～

ひろげる助成

3年目

知識の提供・普及啓発

2018年度の交流会の開催地	2か所
2018年度の交流会の参加者	11人
今年度計画の達成度	70%
目標達成度	80%



漫湖でのサウンド・マップ作り

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

環境を把握する手法として、音に注目して「サウンド・マップ」作りを実施した。あまり馴染みのない手法だけに、参加者に伝えるのが難しかった。

■ 工夫した点

漫湖で実施するだけでなく、近くの公園で実施することで、音による環境の違いを比較した。

課題

中学生や高校生になったユースに、さらなる学習の場と成長のきっかけとなる全国的な活動が行われていない。

目標

日本各地の湿地で活動するユースが集まり、20人規模のユースラムサール交流会(CEPA ワークショップ)が定期的で開催される。

活動内容と成果

ユースラムサールCEPAワークショップの開催：「漫湖」(沖縄県那覇市・豊見城)と「志津川湾」(沖縄県)(宮城県南三陸町)と地域、タイプの異なる湿地で開催。それぞれ地元行政やNGOと連携して実施し、地元を巻き込む形で事業を進めることができ、広く湿地保全についての知識を持つ人材を増やすことができた。また、それぞれの開催県からの参加者があったほか、藤前干潟(愛知県)、琵琶湖(滋賀県)、久米島(沖縄県)と、他の地域で活動するユースからの参加もあった。



環境フェアなごやでのブース出展の様子



北海道ラムサールネットワークについて取材

全助成期間の活動を振り返って

日本各地のさまざまなタイプのラムサール条約登録湿地で活動を行ってきたことで、湿地全体に対するユース世代の認識を上げることができた。また、これまでYRJが活動を行った各県からユースの参加者がおり、さらにそこから会員になる、あるいは別の湿地での企画に参加し、自分の活動湿地以外の湿地についても見識を深めようとするユースが出てきている。ユース世代の人材育成ができてきた。

| 活動地域 | 日本全域

〒453-0855 愛知県名古屋市中村区烏森町8-709

ラポール烏森A-203

電話：052-446-8489

E-mail：youth.ramsar.japan2015@gmail.com

https://youth-ramsar-japan.jimdo.com/



今後の
展望

この3年間の活動で、各地のラムサール条約登録湿地を持つ自治体、NGO等、さまざまなセクターとの連携をはかることができたことから、今後は特に全国的な湿地保全団体の体制も参考にしつつ、湿地での活動を実施する上で必要になる仕事や役割の整理。それに必要となる体制作りと人材育成を進めていきたい。